

1. 著書

白崎英明. 口腔アレルギー症候群の症状と, 特に注意すべき症状について. 保健総合大百科. 少年写真新聞社; 2017, pp157-158

2. 総説, 原著

氷見徹夫: アレルギー性鼻炎・花粉症. 第 52 回日本アレルギー学会専門医セミナーテキスト:25-35, 2017

氷見徹夫: 知っておきたい頭頸部疾患の最前線. 日本耳鼻咽喉科学会 第 31 回専門医講習会テキスト:34-36, 2017

山本哲夫, 朝倉光司, 白崎英明, 亀倉隆太, 氷見徹夫: 各種吸入性抗原の感作と口腔咽頭過敏症を起こす原因食物. 日耳鼻 120(9):1147-1154, 2017

白崎英明, 金泉悦子, 氷見徹夫: ANL Secondary Publication ヒト下鼻甲介における α および β アドレナリン受容体の免疫組織学的局在. 日耳鼻 120(1):70-71, 2017

白崎英明, 金泉悦子, 氷見徹夫: ANL Secondary Publication ヒト鼻粘膜における GPR99 受容体の発現と局在. 日耳鼻 120(9):1206-1207, 2017

白崎英明: アレルギー用語解説シリーズ: 血小板活性化因子 (PAF). アレルギー 66(1):52-53, 2017

白崎英明: アレルギー用語解説シリーズ: 化学物質過敏症. アレルギー 66(7):953-954, 2017

白崎英明: アレルギー用語解説シリーズ: サブスタンス P. アレルギー 66(10):1254-1255, 2017

白崎英明: 病棟当直医の急変時の対応: アナフィラキシーショック. JOHNS 33(3):394-396, 2017

白崎英明: アレルギーと PAF の関係について. 皮膚アレルギーフロンティア 13(3):160-

161, 2017

渡邊一正, 寺倉直明: 鼻腔内逆生歯牙例. 千歳市民病院医誌 13(1):10-12, 2017

小西正訓, 岡亨治, 山田和佳子: 脳神経疾患に対する栄養介入. 北海道脳神経疾患研究所医誌 26:3-6, 2015 (発行遅延のため本年刊行)

黒瀬誠, 小笠原徳子, 高野賢一, 小島隆, 氷見徹夫: 上咽頭疾患とその周辺 上咽頭の解剖・画像・検査 上咽頭の機能と生理. JOHNS 33(11):1525-1529, 2017

百島尚樹: みみ・はな・のどの入口部病変【鼻入口部:皮膚・粘膜】鼻前庭腫瘍. JOHNS 33(12):1683-1687, 2017

高野賢一: 中耳に認めた異所性脳組織. 耳鼻臨床 6:376-377, 2017

高野賢一: 両側顔面神経麻痺. ENTONI 205:51-55, 2017

高野賢一: 口腔・咽頭・唾液腺の検査 Q&A(Q22)多発血管炎性肉芽腫症では PR3-ANCA 陽性例が多くみられますが, 陽性例はほかにどのような疾患がありますか?. 耳喉頭頸 89:264-265, 2017

高野賢一: 口腔・咽頭・唾液腺の検査 免疫関連検査. 耳喉頭頸 89:250-253, 2017

高野賢一: 扁桃誘発検査. 日本医事新報 4846:41-43, 2017

高野賢一, 氷見徹夫: 術後の問題点とトラブル 人工内耳は故障しますか?故障した場合、再手術はどのように行いますか?. JOHNS 12:1760-1762, 2016

高野賢一: IgG4 関連疾患の発症・病態形成のメカニズム. アレルギーの臨床 36:1236-1240, 2016

坪松ちえ子, 高野賢一, 新谷朋子, 氷見徹夫: 高度肥満を伴い重度睡眠時無呼吸を呈したダウン症児の治療経験. 小児耳鼻咽喉科 38(1):26-31, 2017

亀倉隆太, 一宮慎吾, 氷見徹夫: アレルギー性鼻炎の新たな治療標的としての“エピイムノーム”の重要性. アレルギー 66:91-96, 2017

小笠原徳子, 品川雅明, 高野賢一, 坪松ちえ子, 氷見徹夫: 【臨床力 UP! 耳鼻咽喉科検査マニュアル】細菌ウイルス検査 抗酸菌に関する検査. 耳喉頭頸 89(5):432-435, 2017

長島勉, 染川幸裕, 久保志保子, 正木智之, 矢島諒人, 氷見徹夫: 弛緩部型真珠腫に対する耳小骨連鎖の形態を保存した鼓室形成術の検討. 日耳鼻 120(12): 1449-1456, 2017

小幡和史, 米川博之, 佐藤由紀子, 川端一嘉, 三谷浩樹, 福島啓文, 佐々木徹, 新橋渉, 瀬戸陽, 蛭名彩, 神山亮介, 日高竜太, 近藤貴仁, 上里迅, 服部雅優, 氷見徹夫: 上咽頭癌における Epstein-Barr virus 関連の有無と予後因子. 日耳鼻 120:1318-1327, 2017

山下恵司, 大和田築, 宿村莉沙, 山崎徳和: 乳癌骨転移による顔面神経麻痺例. 五稜郭病院医誌 25:19-22, 2017

宮田遼, 佐々木彩花, 矢島諒人, 長屋朋典, 吉岡巖: 胸椎転移からの迷走神経浸潤により麻痺性イレウスをきたした甲状腺乳頭癌と扁平上皮癌の混合例. 耳鼻臨床 110(12):845-849, 2017

山本圭佑, 小笠原徳子, 山本聡, 堤裕幸, 氷見徹夫, 横田伸一: クラリスロマイシンは気道上皮細胞でRSウイルスによって誘導されるインターフェロンの産生をIRF-3を介して調整する. The Japanese Journal of Antibiotics 70 Suppl.A: 19-24, 2017

矢島諒人, 宮田遼, 吉岡巖: 当科で経験した扁桃梅毒の1例. 日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会会誌 58(1):11-14, 2017

高橋希, 光澤博昭, 高野賢一, 氷見徹夫: 気管腕頭動脈瘻に対する腕頭動脈塞栓術後、コイル脱落による気管支異物を生じた一例. 小児耳鼻咽喉科 38(1):14-20, 2017

横田伸一, 山本聡, 小笠原徳子, 植村知加, 高谷芳明, 伊藤英晃, 山本圭佑, 白石宗, 佐藤豊孝, 氷見徹夫: マクロライド作用機序 クラリスロマイシンの炎症反応修飾作用の分子機構の解明 気道上皮細胞のクラリスロマイシン結合タンパク質の同定と機能解析. The Japanese Journal of Antibiotics 70 Suppl.A: 60-64, 2017

3. 国際学会

Shirasaki H, Saikawa E, Himi T. Expression of Lipoxin A4 Receptor :FPRL1 in Human Nasal

Mucosa. American Academy of Allergy, Asthma & Immunology (AAAAI) Annual meeting. 2017年3月3-6日, アトランタ(米国)

Nobuhiro Konno. Usefulness of intraoperative O-arm® navigated endoscopic transoral Rouviere lymph node resection. 5th Congress of Asian Society for Head and Neck Oncology 平成29年3月23-25日, バリ (インドネシア)

Makoto Kurose, Akito Kakiuchi, Kenichi Takano, Atsushi Kondo, Takuya Kakuki, Kazufumi Obata, Kazuaki Nomura, Ryo Miyata, Yakuto Kaneko, Tetsuo Himi, Takashi Kojima. The behavior and role of tricellular tight junction protein lipolysis-stimulated lipoprotein receptor in head and neck squamous cell carcinomas. 5th Congress of Asian Society for Head and Neck Oncology 平成29年3月23-25日, バリ (インドネシア)

Ryuta Kamekura, Kenichi Takano, Motohisa Yamamoto, Koji Kawata, Sumito Jitsukawa, Tomonori Nagaya, Fumie Ito, Chieko Tsubomatsu, Hiroki Takahashi, Tetsuo Himi, Shingo Ichimiya. Role of lesional BCL6hiPD-1hi T follicular helper cells as a cardinal B-cell helper to produce IgG4 in IgG4-related disease. 2017 AAAAI Annual meeting. 平成29年3月3-6日, アトランタ(米国)

Noriko Ogasawara, Julie A. Poposki, Aiko I. Klingler, Bruce K. Tan, Kathryn E. Hulse, Whitney W. Stevens, Anju T. Peters, Leslie C. Grammer, Robert P. Schleimer, Kevin C. Welch, Stephanie S. Smith, David B. Conley, Pejman Soroosh, Tetsuo Himi, Robert C. Kern, Atsushi Kato: IL-10 Prevents the Production of Type 2 Cytokines in Human Group 2 Innate Lymphoid Cells. American Academy of Allergy, Asthma & Immunology (AAAAI) Annual meeting. 平成29年3月3-6日, アトランタ(米国)

Akito Kakiuchi, Takuya Kakuki, Makoto Kurose, Kenichi Takano, Atsushi Kondo, Kazufumi Obata, Kazuaki Nomura, Ryo Miyata, Yakuto Kaneko, Tetsuo Himi and Takashi Kojima. Effects of histone deacetylase (HDAC) inhibitors on malignancy via p63/JAM-A in head and neck cancer. 5th Congress of Asian Society for Head and Neck Oncology 平成29年3月23-25日, バリ (インドネシア)

Jitsukawa S, Kamekura R, Ito F, Nagaya T, Takano K, Himi T. Sorting Nexin 5 Restrains the Oncogenic Setting for Thyroid Cancer. Congress of Asian Society of Head and Neck Oncology. 平成29年3月23~25日, バリ (インドネシア)

Jitsukawa S, Kamekura R, Ito F, Nagaya T, Takano K, Himi T. Sorting Nexin 5 Restrains the Oncogenic Setting for Thyroid Cancer. Congress of Asia-Pacific Society of Thyroid Surgery. 平成 29 年 11 月 1～3 日, 沖縄 (日本)

4. 特別講演、シンポジウム、パネルディスカッション

染川幸裕：宿題報告「子供から大人までの中耳炎—その背景から治療まで—」日本交通医学会第 71 回総会, 平成 29 年 6 月 10 日～11 日, 札幌

氷見徹夫：アレルギー性鼻炎・花粉症, 第 52 回日本アレルギー学会専門医教育セミナー, 平成 29 年 8 月 20 日, 東京

氷見徹夫：「これからの人工内耳医療に求められていること」札幌医科大学耳鼻咽喉科人工内耳・かたつむりの会 記念講演, 平成 29 年 9 月 24 日, 札幌

氷見徹夫：IgG4 関連疾患 耳鼻咽喉科と内科の立場から 1. 耳鼻咽喉科の立場から. 第 30 回日本口腔咽頭科学会 教育セミナー 3, 平成 29 年 9 月 7 日, 金沢

氷見徹夫：学術セミナー9「指定難病診療上の注意点」—関連する領域にまたがる指定難病—, 日本耳鼻咽喉科学会学術総会, 平成 29 年 5 月 20 日, 広島

氷見徹夫：知っておきたい頭頸部疾患の最前線. 日本耳鼻咽喉科学会 第 31 回専門医講習会, 平成 29 年 11 月 11 日, 神戸

白崎英明：特別講演—鼻アレルギー薬物療法のコツ—メディエーターの役割を考えた薬物療法について, 第 17 回郡山アレルギー研究会, 平成 29 年 1 月 14 日, 福島

白崎英明;特別講演—鼻アレルギーにおける抗ヒスタミン剤の役割—作用機序と処方のコツ, 苫小牧耳鼻咽喉科医会学術講演会, 平成 29 年 7 月 14 日, 苫小牧

小西正訓: パネルディスカッション「神経筋疾患に対する嚥下機能手術: 私の治療方針」嚥下機能手術の実施状況～5 年ぶりの全国調査から～, 第 13 回日本神経筋疾患摂食・嚥下・栄養研究会, 平成 29 年 10 月 22 日, 東京

黒瀬 誠：ランチョンセミナー 頭頸部領域における神経再生誘導チューブ (ナーブリ

ッジ)の可能性, 第40回日本顔面神経学会, 平成29年6月1日, 埼玉

黒瀬 誠: ランチョンセミナー 機能温存から、機能再建へ—頭頸部外科における神経再生誘導の試み—, 第76回日本癌学会学術集会, 平成29年9月28日, 横浜

高野賢一: 耳鼻咽喉科領域講習 耳科診療 Up date, 平成29年度北海道耳鼻咽喉科夏季セミナー, 平成29年7月22日, 札幌

大國 毅: 耳鼻咽喉科領域講習 鼻副鼻腔腫瘍性病変の診断・治療, 第37回札幌医科大学耳鼻咽喉科臨床懇話会, 平成29年12月9日, 札幌

亀倉隆太: 日常診療に役立つ免疫学の基礎- アレルギー疾患を中心に, 第30回日本耳鼻咽喉科学会北海道地方部会ブロック講演会, 平成29年7月2日, 札幌

5. 講演

氷見 徹夫: 耳鼻咽喉科分野における医療講演会, 釧路赤十字病院職員研修会, 平成29年5月24日, 釧路

氷見 徹夫: ディレグラの有用性をメカニズムから考える, ディレグラ Expert セミナー, 平成29年5月28日, 東京

氷見 徹夫: めまいを理解するための基礎知識を整理する, 第7回江別医師会医師研修会, 平成29年10月17日, 江別

氷見 徹夫: 小児耳鼻咽喉科感染症の病態と治療の最前線に迫る, 帯広耳鼻科医会, 平成29年10月21日, 帯広

氷見 徹夫: 難聴の診断と治療について, 平成29年度新生児聴覚検査研修会, 平成29年11月16日, 札幌

氷見 徹夫: 教育講演I「子供の扁桃を知る」, 第15回 北海道「睡眠時無呼吸症候群」セミナー, 平成30年1月20日, 札幌

鈴木敏夫: 「最新の補聴器とその価格」「装用指導」, 補聴器相談医委嘱のための講習会,

平成 29 年 1 月 15 日，札幌

鈴木敏夫：「聴覚障害の基礎知識」，小樽市手話奉仕員養成講座，平成 29 年 6 月 13 日，23 日，小樽

鈴木敏夫：「目で診る みみ・はな・のど」，第 47 回北海道養護教員研究大会，平成 29 年 8 月 4 日，赤井川

鈴木敏夫：「保険診療の疑義解釈」，北海道耳鼻咽喉科医会地区研修会，平成 29 年 10 月 21 日，釧路，平成 29 年 11 月 18 日，函館

白崎英明：難治性鼻汁に対する治療経験—受容体発現に関する新たな知見を含めて，集中 Web セミナー LIVE，平成 29 年 1 月 20 日，東京

白崎英明：難治性鼻汁過多症例に対する薬物療法，北耳会道央地区研修会，平成 29 年 2 月 4 日，札幌

白崎英明：難治性鼻汁過多症に対する薬物療法，第 130 回中越耳鼻咽喉科臨床談話会，平成 29 年 3 月 9 日，新潟

白崎英明：ランチョンセミナー 上気道における腺分泌調節機構と薬物療法—難治性鼻汁過多症例への対処法，35 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会，平成 29 年 4 月 15 日，旭川

白崎 英明：男女共同参画委員会企画講演～フィンランドの医師支援，第 66 回日本アレルギー学会学術大会，平成 29 年 6 月 19 日，東京

白崎英明：教育セミナー 脂質メディエーターとアレルギー性鼻炎について，第 48 回日本職業・環境アレルギー学会総会・学術大会，平成 29 年 6 月 30 日，福井

白崎英明：講演 難治性鼻汁過多症に対する薬物療法，日本耳鼻咽喉科学会広島県地方部会学術講演会，平成 29 年 11 月 15 日，広島

白崎英明：食生活とサプリメントによるアレルギー性鼻炎の制御は可能か？，デザレックス発売記念 1 周年記念学術講演会，平成 29 年 11 月 16 日，室蘭

白崎英明：鼻アレルギーにおける抗ヒスタミン剤の役割—作用機序と処方のコツ，デザ
レックス錠 5 mg 発売 1 周年記念講演会，平成 29 年 11 月 30 日，松山

白崎英明：講演 鼻アレルギーにおける PAF の役割，第 19 回東京 NAM(Nasal Allergy
meeting)学術集会，平成 29 年 12 月 7 日，東京

高野賢一：中耳障がい，平成 29 年度 北海道教育オーディオロジー研究協議会 夏の
講習会，平成 29 年 7 月 29 日，札幌

今野信宏：頭頸部外科領域について，第 1 回多診療科にわたる臨床的問題を考える会，
平成 29 年 1 月 28 日 札幌

今野信宏：当科におけるディレグラ処方例の現状，ディレグラ Expert discussion，平成
29 年 7 月 30 日，東京

高野賢一：人工内耳ヒストリー，小児人工内耳の会，平成 29 年 4 月 1 日，札幌

関伸彦：患者さんが「咳」を訴えてきた！さあどうする？，春の咳・感染症フォーラム，
2017 年 4 月 17 日，札幌

小柴茂：「頭頸部癌、再発・転移症例に対する治療について」，第 2 回耳鼻咽喉科病院診
を語る会，平成 29 年 1 月 28 日，札幌

小柴茂：「頭頸部腫瘍について」，第 25 回臨床画像勉強会，平成 29 年 12 月 12 日，札幌

亀倉隆太：IgG4 関連涙腺唾液腺炎の病態における濾胞ヘルパー T 細胞の役割，第 43 回
北海道コラーゲン研究会，平成 29 年 7 月 22 日，札幌

亀倉隆太：免疫学の基礎- アレルギー疾患を中心に，鳥居薬品 外来講師研修会，平成
29 年 8 月 28 日，札幌

亀倉隆太：アレルギー性鼻炎 免疫学的観点からみた病態の新知見，第 15 回札幌耳鼻
咽喉科疾患研究会，平成 29 年 9 月 16 日，札幌

亀倉隆太：耳鼻科臨床医と研究者としてのこれまでの経験、現在の仕事について，平成
29 年度高校生メディカル講座，平成 29 年 11 月 29 日，岩見沢

計良 宗：頭頸部領域のがん診療における PET イメージングの有用性,がんの分子イメージ UPDATE～がん検診から治療まで～,平成 29 年 11 月 24 日, 函館

重原克則、宮島さつき、亀倉隆太、川田耕司、矢部勇人、浅井悠一郎、近藤 瞬、錦織博貴、千葉弘文、高橋弘毅、一宮慎吾：アトピー型喘息における末梢血濾胞ヘルパーT細胞の活性化と治療における変化, 第 21 回北海道アレルギー研究会, 平成 29 年 6 月 24 日, 札幌

6. 学会発表

第 10 回日本静脈経腸栄養学会北海道地方部会 (平成 29 年 1 月 28 日, 札幌)

小西正訓：脳卒中発症初期における 1 年後の摂食機能予後予測.

第 10 回日本静脈経腸栄養学会北海道地方部会 (平成 29 年 1 月 28 日, 札幌)

今野信宏：頭頸部がん患者におけるサルコペニアに関する検討.

第 8 回千歳臨床医学研究会 (平成 29 年 1 月 28 日, 千歳)

渡邊一正：内耳障害を併発した急性中耳炎成人例.

第 37 回札幌市病院学会, (平成 29 年 2 月 6 日, 札幌)

松澤優, 土岐美香子, 本間明美, 岡亨治, 小西正訓：当院における摂食嚥下障害看護の卒後教育について.

第 27 回日本頭頸部外科学会学術講演会 (平成 29 年 2 月 2～3 日, 東京)

坪田大：頬脂肪体弁および口蓋粘膜弁を用いて再建した硬口蓋癌症例.

今野信宏：TPF 療法における予防的 G—CSF 投与の検討.

黒瀬誠, 近藤敦, 高野賢一, 大國毅, 小幡和史, 氷見徹夫：喉頭垂直部分切除症例における VLoc クロージャーデバイスの使用経験.

第 32 回日本静脈経腸栄養学会, (平成 29 年 2 月 23～24 日, 岡山)

小西正訓：脳卒中症例における嚥下機能評価依頼例の特徴.

第 40 回日本嚥下医学会, (平成 29 年 2 月 24～25 日, 東京)

小西正訓：脳卒中例における肺炎発症例の特徴.

第 43 回北海道頭頸部腫瘍研究会（平成 29 年 2 月 25 日，札幌）

今野信宏：経口腔的ルビエールリンパ節摘出における術中ナビゲーション「O-arm」の有用性.

第 215 回日本耳鼻咽喉科学会北海道地方会学術講演会（平成 29 年 3 月 26 日，札幌）

渡邊一正：当科を受診した虚血性心疾患例.

小西正訓：脳卒中例における嚥下機能評価依頼例の特徴.

今野信宏：O-arm と 3D 内視鏡が有用であった経口腔的副咽頭間隙腫瘍摘出術の 1 例.

山本圭佑，近藤敦，小幡和史，黒瀬 誠，氷見徹夫：札幌医科大学における下咽頭重複癌症例の検討.

角木拓也，百島尚樹，坪田大，松宮弘，新谷朋子：喉頭麻痺を伴った汎発性帯状疱疹の一例.

村山公介，計良宗，垣内晃人，今野信宏：頸部リンパ節転移を認めた甲状舌管癌の 1 例.
佐藤里奈，山本圭佑，小幡和史，長屋朋典，坪松ちえ子，近藤敦，氷見徹夫：Lemierre 症候群の 1 例.

第 35 回日本リハビリテーション医学会北海道地方会，（平成 29 年 4 月 8 日，札幌）

小西正訓：脳卒中に伴う摂食機能障碍の予後予測.

第 35 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会（平成 29 年 4 月 13～15 日，旭川）

白崎英明，才川悦子，菊池めぐみ，氷見徹夫：ヒト鼻粘膜におけるリポキシン A4 受容体—F P R L 1 受容体の発現と局在.

亀倉隆太，高野賢一，伊藤史恵，一宮慎吾，氷見徹夫：奨励賞応募演題 IgG4 関連涙腺・唾液腺炎の病変部位における濾胞ヘルパー T 細胞の機能的役割.

山本圭佑，小笠原徳子，高野賢一，宮田遼，角木拓也，亀倉隆太，氷見徹夫：クラリスロマイシンは気道上皮で RSV によって誘導されるインターフェロンを IRF-3 を介して調整する.

金子躍人，角木拓也，高野賢一，大國毅，菊地真，幸野貴之，氷見徹夫，小島隆：p63 によるヒト鼻粘膜上皮バリアの調節機構.

第 106 回日本病理学会総会（平成 29 年 4 月 27～29 日，東京）

金子躍人，角木拓也，高野賢一，大國毅，菊地真，幸野貴之，氷見徹夫，小島隆：ヒト鼻粘膜上皮バリアにおける転写制御因子 p63 の役割.

伊藤史恵，亀倉隆太，川田耕司，高野賢一，氷見徹夫，一宮慎吾：Regulatory mechanism of IgG4 production in lesions of IgG4-related dacryoadenitis and sialadenitis.

第 6 回札幌栄養管理情報ネットワーク研究会（平成 29 年 5 月 13 日，札幌）

稲葉久子，小西正訓：地域連携取り組みの現状と今後の課題について.

第 16 回日胆頭頸部外科臨床検討会（平成 29 年 5 月 13 日，苫小牧）

志藤文明：口蓋扁桃振子様肥大症部分型の一例.)

第 118 回 日本耳鼻咽喉科学会通常総会・学術講演会（平成 29 年 5 月 17～20 日，広島）

白崎英明，才川悦子，氷見徹夫：鼻粘膜におけるリポキシン A4 受容体の発現と局在.

小西正訓：脳卒中例における嚥下機能評価依頼例の特徴.

黒瀬誠，光澤博昭，高橋希，氷見徹夫：CHARGE 症候群における気道管理

高野賢一，矢島諒人，亀倉隆太，氷見徹夫：IgG4 関連疾患における PET/CT 検査の有用性とピットフォール.

山本圭佑，小笠原徳子，高野賢一，宮田遼，角木拓也，亀倉隆太，氷見徹夫：クラリスロマイシンは気道上皮で RSV によって誘導されるインターフェロンを IRF-3 を介して調整する.

角木拓也，黒瀬誠，高野賢一，近藤敦，小幡和史，野村一顕，金子躍人，氷見徹夫：頭頸部扁平上皮癌における p63/GATA-3 経路によるタイト結合分子 JAM-A の発現調節機構.

實川純人，伊藤史恵，山下恵司，長屋朋典，亀倉隆太，氷見徹夫：甲状腺癌発生における Sorting Nexin 5 の機能的意義.

第 40 回日本顔面神経学会，（平成 29 年 5 月 31 日～6 月 1 日，埼玉）

小西正訓：ステロイド治療と HBV.

第 12 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会（平成 29 年 6 月 2～3 日，栃木）

高橋希，光澤博昭：声門下血管腫の一例.

第 41 回日本頭頸部癌学会学術集会（平成 29 年 6 月 8～9 日，京都）

今井良吉：KKR 札幌医療センター耳鼻咽喉科における甲状腺癌症例の検討

近藤敦，山本圭佑，小幡和史，黒瀬誠，氷見徹夫：下咽頭癌における重複癌症例の検討.

今野信宏：経口腔的ルビエールリンパ節摘出における術中ナビゲーション「O-arm」の使用経験.

黒瀬誠，近藤敦，小幡和史，氷見徹夫：頭頸部領域における神経再生誘導チューブ（ナーブリッジ）の使用経験.

小幡和史，小島隆，垣内晃人，角木拓也，黒瀬誠，近藤敦，氷見徹夫：頭頸部扁平上皮

癌に対するヒストン脱アセチル化酵素阻害剤の抗腫瘍効果メカニズムの解析.

村山公介, 今野信宏, 垣内晃人, 氷見徹夫: 頸部リンパ節転移を認めた甲状舌管癌の1例.

第54回日本リハビリテーション医学会, (平成29年6月8~10日, 岡山)

小西正訓: 脳卒中発症後の栄養投与経路の変化 ~52週追跡調査~.

第71回日本交通医学会総会 (平成29年6月10~11日, 札幌)

久保志保子, 長島勉, 染川幸裕: 当科で扱った外耳道真珠腫症例の検討.

第29回日本頭蓋底外科学会(平成29年6月15~16日, 松本)

今野信宏: O-arm®と3D内視鏡が有用であった経口腔的副咽頭間隙腫瘍摘出術の1例.

第66回日本アレルギー学会学術大会 (平成29年6月16~18日, 東京)

白崎英明, 才川悦子, 氷見徹夫: 好酸球細胞株を用いた脂質メディエーター受容体発現調節に関する検討.

亀倉隆太, 高野賢一, 山本元久, 伊藤史恵, 川田耕司, 重原克則, 高橋裕樹, 氷見徹夫, 一宮慎吾: IgG4関連涙腺唾液腺炎の病変部位とリンパ組織に存在する濾胞ヘルパーT細胞の機能的差異.

重原克則, 宮島さつき, 亀倉隆太, 川田耕司, 高橋弘毅, 一宮慎吾: アトピー型喘息における末梢血濾胞ヘルパーT細胞の活性化と治療における変化の検討.

第21回北海道アレルギー研究会 (平成29年6月24日, 札幌)

山本哲夫, 朝倉光司, 白崎英明, 亀倉隆太, 氷見徹夫: ヨモギ, イネ科花粉などの感作と口腔咽頭過敏症を起こす原因食物.

重原克則, 宮島さつき, 亀倉隆太, 川田耕司, 矢部勇人, 浅井悠一郎, 近藤 瞬, 錦織博貴, 千葉弘文, 高橋弘毅, 一宮慎吾: アトピー型喘息における末梢血濾胞ヘルパーT細胞の活性化と治療における変化.

第42回日本睡眠学会定期学術講演会 (平成28年6月29~30日, 横浜)

坪松ちえ子, 新谷朋子, 氷見徹夫: 小児閉塞性睡眠時無呼吸におけるアデノイド・口蓋扁桃所見と重症度の検討.

第29回日本嚥下障害臨床研究会, (平成29年7月1~2日, 松江)

小西正訓: 続・嚥下中の輪状咽頭筋をめぐる疑問.

第 79 回耳鼻咽喉科臨床学会総会（平成 29 年 7 月 6～7 日，下関）

坪松ちえ子，山本圭佑，長屋朋典，近藤敦，新谷朋子，氷見徹夫：舌扁桃肥大に対しコブレーション手術を施行した小児睡眠時無呼吸の 1 例。

長屋朋典，坪松ちえ子，小幡和史，山本圭佑，佐藤里奈，近藤敦，氷見徹夫：口蓋扁桃に発症した胚中心進展性異形成の 1 例。

山本圭佑，近藤敦，佐藤里奈，小幡和史，長屋朋典，黒瀬誠，坪松ちえ子，氷見徹夫：当科における下咽頭癌の重複癌の検討。

佐々木彩花，矢島諒人，宮田遼，吉岡巖：頭蓋内に浸潤した副鼻腔真菌症。

佐藤里奈，高野賢一，黒瀬誠，大國毅，垣内晃人，伊藤史恵，氷見徹夫：第 1 鰓裂由来嚢胞の 1 例。

第 49 回北海道脳卒中研究会（平成 29 年 7 月 8 日，札幌）

小西正訓：脳卒中例における摂食機能の予後その 1・その 2。

第 16 回北海道病院学会，（平成 29 年 7 月 22 日，札幌）

松澤優，土岐美香子，本間明美，岡亨治，小西正訓：当院における摂食嚥下障害看護の卒後教育について ～リンクナースの育成とその結果～。

第 62 回北海道リハビリテーション学会，（平成 29 年 7 月 29 日，札幌）

小西正訓：嚥下の状況、言葉で伝わる？

第 15 回日本臨床医療福祉学会（平成 29 年 9 月 1～2 日，岡山）

松澤優，土岐美香子，本間明美，岡亨治，小西正訓：当院における摂食嚥下障害看護の卒後教育について ～リンクナースの育成とその結果～。

第 30 回日本口腔・咽頭科学会総会ならびに学術講演会（平成 29 年 9 月 7～8 日，金沢）

近藤敦，黒瀬誠，高野賢一，大國毅，小幡和史，氷見徹夫：中咽頭原発腺房細胞癌症例。
黒瀬誠，近藤敦，高野賢一，大國毅，小幡和史，氷見徹夫：口腔咽頭再建における VLoc クロージャーデバイスの有用性。

高野賢一，矢島諒人，亀倉隆太，大國毅，黒瀬誠，伊藤史恵，坪松ちえ子，氷見徹夫：IgG4 関連唾液腺炎の診断における PET/CT 検査の有用性。

坪松ちえ子，高野賢一，新谷朋子，氷見徹夫：小児睡眠時無呼吸症における重症度別の治療成績。

大國毅，白崎英明，近藤敦，黒瀬誠，高野賢一，亀倉隆太，伊藤史恵，氷見徹夫：唾液腺原発悪性リンパ腫症例の検討。

亀倉隆太，高野賢一，伊藤史恵，一宮慎吾，氷見徹夫：IgG4 関連涙腺唾液腺炎のステロ

イド治療前後での血液機能性リンパ球サブセットの動態.

伊藤史恵, 亀倉隆太, 高野賢一, 一宮慎吾, 氷見徹夫: 加齢に伴う濾胞ヘルパー T 細胞と濾胞制御性 T 細胞の機能変容.

佐藤里奈, 小幡和史, 長屋朋典, 坪松ちえ子, 近藤敦, 氷見徹夫: Lemierre 症候群の 1 例.

第 23 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会 (平成 29 年 9 月 15~16 日, 千葉)

松澤優, 小西正訓: 当院における摂食嚥下障害看護の卒後教育について ~リンクナーズの育成とその結果~.

太田純子, 小西正訓, 菊地貴子: 摂食嚥下障害に関する学習会効果の検討.

第 49 回日本臨床分子形態学会総会・学術集会 (平成 29 年 9 月 15~16 日, 岐阜)

矢島諒人, 高野賢一, 垣内 晃人, 金子躍人, 金野 匠, 幸野貴之, 氷見徹夫, 小島 隆: IgG4 関連疾患における顎下腺の線維化メカニズムの解析.

日本花粉学会第 58 回大会 (平成 29 年 9 月 15~17 日, 静岡)

白崎英明, 山本哲夫, 氷見徹夫: シラカバ花粉症に関連する口腔アレルギー症候群の血清学的診断について.

第 5 回日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会総会・学術講演会 (平成 29 年 9 月 21~22 日, 大津)

渡邊一正, 中島築: ワクチン既接種者のムンプス難聴例.

第 22 回 PEG・在宅医療学会 (平成 29 年 9 月 23 日, 札幌)

小西正訓: 脳卒中例の PEG 適応予測.

第 56 回日本鼻科学会総会・学術講演会 (平成 29 年 9 月 28~30 日, 山梨)

白崎英明: 基礎ハンズオンセミナー in situ ハイブリッドダイゼーションの手技の概要とコツ.

野村一顕, 今井良吉: 乳癌副鼻腔転移の 1 例.

宮田遼, 松宮弘, 佐々木彩花, 吉岡巖: 鼻腔に発生したリン酸塩尿性間葉系腫瘍 (phosphaturic mesenchymal tumor) の 1 例

山本圭佑, 小笠原徳子, 大國毅, 高野賢一, 堤裕幸, 氷見徹夫: ウイルス感染症での鼻粘膜上皮における細気管支炎・喘鳴の発症予測因子としての鼻汁 microRNA の可能性.

第 45 回日本臨床免疫学会総会 (平成 29 年 9 月 28~30 日, 東京)

亀倉隆太、高野賢一、山本元久、伊藤史恵、矢部勇人、川田耕司、高橋裕樹、氷見徹夫、一宮慎吾：研究奨励賞セッション IgG4 関連涙腺・唾液腺炎の病態形成における濾胞ヘルパーT細胞の機能的役割。

第23回北日本頭頸部癌治療研究会（平成29年10月14日，仙台）

小幡和史，近藤敦，黒瀬誠，氷見徹夫：札幌医科大学耳鼻咽喉科における舌癌を除く口腔癌の治療成績。

第33回帯広耳鼻科医会学術講演会(平成29年10月21日，帯広)

佐々木彩花，宮田遼，角木拓也，野村一顕，吉岡巖：Virchowリンパ節腫脹を初発とした原発不明胚細胞腫瘍の一例。

第66回共済医学会（平成29年10月25～26日，京都）

今井良吉，他：KKR 札幌医療センター耳鼻咽喉科における甲状腺腫瘍に対する超音波分類の取り組み。

百島尚樹，金子躍人，坪田大：上咽頭の腫瘍に対して手術を行った，成人滲出性中耳炎の2例。

佐藤文昭，今井良吉，他：FNAB後にびまん性甲状腺腫大を呈した2症例。

第216回日本耳鼻咽喉科学会北海道地方部会学術講演会(平成29年10月29日，旭川)

渡邊一正，松浦聖一：水痘・帯状疱疹ウイルスによる声帯麻痺例。

角木拓也、宮田遼、佐々木彩花、野村一顕、吉岡巖：両側声帯麻痺を契機として発見された、Forestier病による嚥下障害の一例。

佐々木彩花，宮田遼，角木拓也，野村一顕，吉岡巖：Virchowリンパ節腫脹を初発とした原発不明胚細胞腫瘍の一例。

大和田築，大國毅，萬頭，山本圭佑，高野賢一，黒瀬誠，氷見徹夫：外転神経麻痺単独で発症した急性蝶形骨洞炎の1例。

第69回日本気管食道学会総会ならびに学術講演会（平成29年11月8～9日，大阪）

黒瀬誠，光澤博昭，大國毅，高野賢一，近藤敦，氷見徹夫：長期経過観察の後、気管孔閉鎖が可能であった気道病変を認めたCHARGE症候群症例の検討。

第27回日本耳科学会総会・学術講演会（平成29年11月22～24日，横浜）

高野賢一，角木拓也，大國毅，松永達雄，氷見徹夫：NOG遺伝子変異が同定された先天性アブミ骨固着症の一例。

第 46 回日本免疫学会学術集会（平成 29 年 12 月 12～14 日，仙台）

Hayato Yabe, Ryuta Kamekura, Fumie Ito, Ippei Ikegami, Koji Kawata, Tetsuo Himi, Hiroki Takahashi, Shingo Ichimiya: Regulatory mechanisms of the production of IgG4 in IgG4-related dacryoadenitis and sialadenitis.

7. その他

染川幸裕：「第 4 回鈴木式鼓室形成術セミナー2017」の代表世話人，平成 29 年 8 月 26 日，東京北医療センター

染川幸裕：「耳の病気～鼓室形成術～」、北海道の病院 2017、2017.2.20

白崎英明：アイスブレイキング，第 12 回札幌医大指導医講習会，平成 29 年 10 月 28-29 日，札幌医大

小西正訓：会員の声「嚥下機能手術が実施されるためには」，日摂食嚥下リハ会誌 21: 120, 2017.

高野賢一：札幌医大の研究室から，十勝毎日新聞，平成 29 年 4 月 14 日

高野賢一：耳かきし過ぎ禁物，北海道新聞，平成 29 年 3 月 1 日

高野賢一：IgG4 関連唾液腺炎の診断における PET/CT 検査の有用性，IgG4 関連疾患の診断基準ならびに治療指針の確立を目指す研究班会議，平成 29 年 12 月 15 日，京都

高野賢一：IgG4 関連疾患に対する core needle biopsy の検討，IgG4 関連疾患の診断基準ならびに治療指針の確立を目指す研究班会議，平成 29 年 12 月 15 日，京都

坪松 ちえ子：「睡眠時無呼吸症候群」，医療と介護ナビ 2017 年版夏・秋号 8-9

坪松 ちえ子：「睡眠時無呼吸症候群」，暮らしと健康の月刊誌ケア 2017 年 8 月号 20-26

亀倉隆太：第 13 回日本アレルギー学会学術大会賞「アレルギー性鼻炎の新たな治療標的としての“エピムノーム”の重要性」

Kamekura R. Kenji Mano Travel Grant. 日本アレルギー学会